

事業種類		荒廃山地の復旧等の治山		事業名		山地治山			
市町村名		辰野町	ふりがな 箇所名	みなみさわ 南沢		事業年度 (完了年度は見込み)	H26 年度～	H29 年度	
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	谷止工3個、山腹工(土留工10基、伏工、水路工)			150,000	国庫	その他	県債	一般財源
	H26年度	谷止工1個			33,200	16,600			16,600
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	保全対象人家戸数		■ 10戸以上	□ 1～9戸	□ 0戸	25		
		保全対象公共施設		■ 2箇所以上	□ 1箇所	□ なし	25		
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか		□ 重要施設	□ 一般施設	■ なし	0		
		事業目的(保安林・林業用施設)		□ 「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	□ 保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	■ 保安林率30%未満	10		
	小計					60	0.2	12	
	重要性	過去の災害履歴		■ 過去5年に1回以上	□ 災害履歴地	□ なし	30		
		交通遮断による地域経済などへの影響		■ 大	□ 中	□ 小	30		
		防災計画上の位置づけ		■ あり	□ なし		40		
		小計					100	0.1	10
効率性	費用対効果(B/C)		■ B/C2.0以上	□ B/C1.0以上2.0未満	□ B/C1.0未満	40			
	事業効果の早期発現度(事業年数)		□ 3年未満	■ 3年以上5年未満	□ 5年以上	25			
	流域の総合調整		□ あり	■ なし		10			
	小計					75	0.1	7	
緊急性	最寄の保全対象までの距離		■ 50m未満	□ 50m以上200m未満	□ 200m以上	20			
	平均溪床勾配(平均山腹勾配)		■ 10°以上(30°以上)	□ 5°～10°未満(20～30°未満)	□ 5°未満(20°未満)	25			
	下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)		■ なし	□ あり(概ね満砂)	□ あり(ポケットあり)	15			
	山地災害危険地区危険度		□ Aランク	■ Bランク	□ Cランク □ なし	25			
	小計					85	0.4	34	
計画 熟度	地域からの要望		□ 地域住民の内発的な活動が強い	■ 市町村等からの要望有り	□ 特に要望がない	25			
	事業情報の共有		□ 広く一般に周知	■ 関係者中心に周知	□ 特に周知していない	25			
	県民参加と協働		□ あり	■ なし		10			
	小計					60	0.2	12	
費用対効果(B/C)		2.12		評価の合計				75	
事業 周辺 環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成25年9月台風18号に伴う豪雨により、山腹崩壊が発生、土砂流出により溪流直下の林道が埋没。林道より下流の保全対象(人家、国道、町道、鉄道)に甚大な被害は無かったが、現在も多量の不安定土砂が堆積している。下流に人家が位置していること、また、町道が上伊那広域連合のクリーンセンターたつに通じる唯一のゴミ搬入路であることから重要度の高い路線となっている。							
	地域からの要望経緯	平成25年9月の台風による豪雨に伴い、溪流内に多量の土砂が堆積している旨、区役員から辰野町役場に報告。H25.10.11 辰野町役場の依頼により区役員、役場同伴のもと現地確認。共有林であり、区として防災上の安全性確保を最優先し、治山事業要望をすることとなった。							
	事業説明等の経緯	H25.10.11 雨沢耕地区役員、下雨沢区役員、辰野町同伴のもと現地状況確認 H25.11.6 雨沢耕地区、下雨沢区を対象とし、地方事務所主催の事業説明、保安林指定の説明を雨沢公民館にて実施。							
	環境・景観への配慮項目	特になし。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
	特記事項	土砂災害特別警戒区域に指定されているため、関係機関と情報共有を図る。土石流危険溪流、土石流危険区域指定(～下方のJR及び国道を含む)							
地域の合意形成		■ 全員賛成	□ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明				
部意見		H26年台風18号災により崩壊した土砂が未だ溪流内に大量に堆積しており、土砂災害を防止するため早急に対策工事に着手する必要がある。			行政改革課 意見	重要性が高く、緊急性も認められる。			